

別紙

前年度の温室効果ガスの排出の量及び排出削減計画に基づき実施した措置の状況

氏名	(法人にあっては名称) 富士ダイス株式会社	住所	(法人にあっては主たる事業所の所在地) 〒 146-0092 東京都大田区下丸子2-17-10
----	--------------------------	----	---

本票作成	部署名：生産技術部
------	-----------

主たる業種	分類コード	26	業種名：生産用機械器具製造業
-------	-------	----	----------------

事業の概要	超硬耐摩耗工具製造販売 従業員170名
-------	---------------------

県内の主な工場等	番号	工場等の名称	所在地
	①	岡山製造所	倉敷市玉島乙島字新湊8234-15

特定事業者の該当要件	<input checked="" type="checkbox"/> ①燃料等原油換算1,500k0以上 <input type="checkbox"/> ②バス・トラック100台、タクシー250台以上 <input type="checkbox"/> ③CO <sub>2</sub> 換算3,000t以上 (●工場等の数                    1    所                    ●車両台数 (②該当の場合)                    台)
------------	--

温室効果ガス排出量	基準年度(令和 2 年度)	(令和 5 )年度排出量	目標年度(令和 5 年度)
	5,009 t CO <sub>2</sub>	4,816 t CO <sub>2</sub>	5,715 t CO <sub>2</sub>

主な工場等の排出量	番号	工場等の名称	(令和 5 )年度排出量
	①	岡山製造所	4,816 t CO <sub>2</sub>
			t CO <sub>2</sub>
			t CO <sub>2</sub>
			t CO <sub>2</sub>

削減目標の達成状況	計画期間：	令和 3 年度	～	令和 5 年度	( 3 箇年度)
	<input type="checkbox"/> 総排出量基準	( 5 )年度削減実績	目標削減率	目標達成	
	<input checked="" type="checkbox"/> 原単位基準	17.3 %	3.0 %	<input checked="" type="checkbox"/> 達成	<input type="checkbox"/> 未達

(原単位基準の削減目標を選択している場合に記入)	温室効果ガスの排出量と密接な関係をもつ値の内容 売上金額	原単位当たり排出量		
		基準年度	( 5 )年度	目標年度
		0.636 t CO <sub>2</sub> /(百万円)	0.526 t CO <sub>2</sub> /(百万円)	0.662 t CO <sub>2</sub> /(百万円)

(該当事業者のみ記入)

ベンチマーク指標の状況	対象事業の名称	ベンチマーク指標	関連数値(令和 5 年度)	達成率等

【削減状況の自己評価】

前年度から生産・売上が更に上昇。引き続き過度な暖機運転の抑制等、管理活動を行ったが、温室効果ガスの排出量は前年度を上回る結果となった。

**【推進体制】**

- ・エネルギー管理統括者を中心に、エネルギー管理員が製造所のエネルギー管理を実施し、従業員に省エネ・地球温暖化に関する教育を行い、効率的かつ効果的な省エネルギー対策を図る。
- ・ISO14001システムに基づき、環境改善を推進する。

**【目標削減率達成のために実施した措置及び今後の取組】**

工場等の名称	実施した措置及び今後の取組の内容
岡山製造所	<p>ISO14001の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・電気炉の計画的な操炉管理と電灯、空調の管理。</li> <li>・製造条件の変更による生産性向上の実施。</li> <li>・空調機の定期的なメンテナンス実施。</li> <li>・フロン排出抑制法の改正による定期的な冷凍機の簡易点検実施。</li> <li>・製造所内の空調機交換。</li> </ul> <p>(今後実施予定分)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・主要設備の計画的な稼働管理と電灯、空調の管理。</li> <li>・電気炉内の充填量率を増加させ、効率の良い生産体制の構築。</li> <li>・新設、更新時に省エネタイプの設備導入。</li> <li>・空調機の定期的なメンテナンス実施。</li> <li>・基礎技術を見直し、新技術の確立により生産性を向上させる。</li> <li>・資源の有効活用による社内外に対する使用エネルギーの節約。</li> <li>・フロン排出抑制法の改正による定期的な冷凍機の簡易点検実施。</li> </ul>

**【森林保全等吸収源対策への取組】**

県内での取組	無	
その他	無	

**【再生可能エネルギーの導入】**

県内での取組	無	
その他	無	

**【その他特記事項】**

--